
相思相愛

諒夏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

相思相愛

【Nコード】

N5570D

【作者名】

諒夏

【あらすじ】

最近増えた彼のスキンシップ。そして、辛そうな彼の顔…そのことに気づいた彼女は彼に理由を聞いてみた…それは案外簡単で、でも二人とも感じてた事で。その言葉を四字熟語でいうならば相思相愛。だから…二人が選んだ答えは…これだった。

（前書き）

逢う時に感じる彼の辛そうな顔に疑問を持った彼女。
そして、それは日増しに増えていき…

最近の彼は少しおかしい。なんていえばいいのかわからないけど・

・

「どうかした？」

「別に・・・」

そういつてぎゅっと私を抱き締める事が多くなった。

なぜだろう？

いつからだろう？

彼の顔に余裕がないのが感じられたのは？

自分を見つめる瞳に陰が差したのは？

「・・・ねえ、どうかしたの？」

辛そうな顔してるよ？

諒夏の言葉に彼は苦笑した。

「ずっとこのまま、一緒に居たい・・・」

最近、離れてるのが苦痛なんだ。

彼は白旗をあげた。

彼女と逢う前日はドキドキが止まらなくて、

逢うと穏やかになるんだけど、でもまたねって去っていくとなんか

寂しくなる

・・・喪失感に襲われるのだと。

だから一緒にいるときは手を繋ぎたいし、どんな時でも抱き締めて
たいって思っただって。

「だから最近スキンシップ多いんだ・・・」

彼女の言葉にバツの悪そうな彼。

「そういうことないか？」

逢えた後とか？

喪失感に襲われる事・・・

「あるよ。」

いつも、一緒に居たいって。

彼の胸に寄りかかりながらそう呟く。

ぎゅって抱き締めてるままにすれば彼は「大好きだ」って呟いた。
だから私も「大好き」って呟いた。

二人ともが同じ感情。

逢う前はドキドキと胸がときめいて、

逢った後はなんか隣が物足りなくて・・・

だからこそ、また逢いたいって思うんだと思う。
相思相愛ってそういうことだね。

同じ事を思っ、同じように感じる・・・

そして、彼から出た言葉は・・・

「俺達…結婚しないか？」

その一言に私は「よろこんで」と頷いた。

（後書き）

こついのつてなんとなくありますよね？
こついう感じって。

なんとなく思い出して書いてみました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5570d/>

相思相愛

2010年10月17日05時11分発行